

## ルワンダ国月報（２０１５年９月）

### 主な出来事

#### 【内政】

● １１日、大統領の三選を禁止する憲法条項改正につき議論する上院議会委員会のメンバーが決定された。

#### 【外政】

● １５日、太田清和新駐ルワンダ日本国大使は、カガメ大統領への信任状捧呈を行った。

#### 【経済】

● ルワンダ国家統計局（NISR）は、第二四半期のGDP成長率は７％であったと公表した。

※以下はルワンダの英字日刊紙「The New Times」の記事を取り纏めたもの。

#### 【内政】

##### ・ルワンダ・エネルギー・グループ（REG）のCEO逮捕

先月３０日にムギラネザREG・CEOが逮捕されていたことが警察の発表で分かった。REGの職員採用に関し不正行為があった容疑で留置所に拘置されていたが、２日には、証拠不十分で釈放された。（４日）

##### ・新司法年２０１５／１６のリトリート

４日、東部県にあるルワンダ国防軍トレーニングセンターにおいて、新司法年２０１５／１６に関する３日間のリトリートが開かれ、カガメ大統領も出席した。同大統領はルワンダの過去１０年間、司法サービスは改善され続けていることについて言及し、裁判官を賞賛した。トランスペアレンシー・インターナショナル・ルワンダの調査によると、国民の８０％が現行の司法システムに満足していると回答している。（５日）

##### ・日本企業盗難事件

４日に日本の建設会社「鴻池組」がンゴマ郡の同社施設から１，０００万ルワンダ・フラン（約１５０万円）が盗まれ、５日には警察の捜査により６人のルワンダ人が逮捕された。その内５人は同社の従業員であった。（７日）

##### ・交通安全月間

カボネカ地方自治大臣は７日、キチュキロ郡で行われた交通安全月間２０１５において、飲酒運転、スピード違反による事故が増大していることについて言及し、交通ルール遵守の重要性について述べた。警察の発表によると１月～６月までに少なくとも２００人が交通事故で死亡し、３００人以上の負傷者が報告されている。（８日）

##### ・大統領の三選問題

（１） １１日、大統領の三選禁止にかかる憲法改正について議論する、７人で構成される委員会のメンバーが上院議会によって決定された。今後は、最高裁判所で宣誓式が行われる予定である。ムシンジマナ委員長は、７人のメンバーは公平に選出され、憲法改正に関

する確かな経験を持っている旨述べた。(12日)

(2) 16日、最高裁判所の宣誓式を終え、7人の憲法改正委員会のメンバーは公務を開始した。同委員会は、4ヶ月かけて憲法第101条の改正の必要性に関し議論する。(17日)

## 【外政】

### ・PKO活動

国連南スーダン派遣団(UNMISS)に派遣され活動していたルワンダ国防軍(RDF)165人が任務を終了しルワンダに帰国した。ルワンダは5,000人以上の人員を国連PKOミッションに派遣している。(2日)

### ・対日本関係

15日、太田清和新駐ルワンダ日本国大使は、カガメ大統領への信任状捧呈後の記者会見において、ルスモークヨンザ道路の改良のための6,000万米ドルの支援を表明した。同借款は、アフリカ開発銀行との協調融資である。太田大使は、両国はICT分野において協力しており、安倍総理は日本の大学院で学ぶために16名の若いルワンダ人を招聘している、素晴らしい若者たちが日本に行き、日本のカウンターパートと共に学び、日本のビジネス界で働く、ICTのために共に働き輝かしい未来を得ることを望んでいるとも述べた。同大使はまた、安全保障、開発及び女性のエンパワメントを強調し、ルワンダ大統領はジェンダー平等において素晴らしい功績を築いており、多くの国会議員、閣僚、その他は女性であり、ルワンダは世界でもナンバー・ワンにランクされている、カガメ大統領は「Impact 10x10x10」のチャンピオンの一人に選ばれており、安倍総理も同理念への参加を望んでいると述べた。(16日)

### ・対カザフスタン関係

カガメ大統領は初めてカザフスタン共和国を訪問し、ナザルバエフ大統領と会談した。両者は、二国間関係の強化、特にエネルギーセクターにおける連携について議論した。(22日)

### ・持続可能な開発に関する国際会議

カガメ大統領は24日にコロンビア大学で開催された、持続可能な開発に関する国際会議(International Conference on Sustainable Development)に出席した。同会議は、ミレニアム開発目標(MDGs)が今年達成期限を迎えるため、MDGsに代わる今後の目標である持続可能な開発目標(SDGs)について議論するものであり、同大統領は現在MDGsアドボカシー・グループの共同議長をしている。(26日)

### ・第70回国連総会

ニューヨークで開催された第70回国連総会にカガメ大統領が出席した。SDGsが25日に国連本部で全会一致により採択されたことを受け、カガメ大統領はスピーチの中で、新しい目標が策定されたことは新しい国際協力の時代に入ったことを意味する旨述べた。

(30日)

## 【経済】

### ・2014／15年度国内歳入増加

ルワンダ歳入局（RRA）は3日、2014／15年度の国内歳入は前年比12%増加し、目標値の97.8%まで達した旨発表した。ツサベ長官は、増加の要因として、ステークホルダーとの適切な連携、エレクトロニック・ビリング・マシン（EBM）の導入を挙げた。現在までに、12,000の納税者中8,000がEBMを利用している。（4日）

### ・紅茶の輸出額増加

国家農業輸出振興機構（NAEB）の月間報告書によると、ルワンダの紅茶の輸出額は国際価格が1キロ2.25米ドルから3.49米ドルに上昇した影響を受け、対前年比26%増、600万米ドル以上の増加となった。他方、コーヒーは、輸出量は対前年比2%増加したが、輸出額は国際価格が下落したため、対前年比21%の減少となった。（4日）

### ・メタンガスの発電プロジェクト

2008年に開始された湖底からメタンガスを抽出し燃やして発電するキブ湖のキブワット発電プロジェクトは、当初の予定よりも遅れていたが、ムソニ・インフラ大臣は17日の夜に試運転を行ったところ成功した旨述べた。フェーズ1の工事はほぼ完了しており、10月末までには25MWの発電を開始する見込みとのこと。（17日）

### ・農業関連のワークショップ開催

7日から3日間、キガリ市にて国連食糧農業機関（FAO）、農業・動物資源省及び東アフリカ農業連盟（EAFF）共催により、農業ビジネス起業文化の育成（Cultivating Agribusiness Entrepreneurship Culture）をテーマに、農業ビジネス及び起業に関するワークショップが開催された。同ワークショップでは、農協のリーダー等に対し、能力向上の支援等が行われる。（8日）

### ・右ハンドル車の輸入

今年2月に、右ハンドルの商業トラック及び公共バスの輸入を禁止する法が改正され、右トラック及びバスの輸入は可能となり、ルワンダ歳入局（RRA）の発表によると223台以上のトラックがルワンダに輸入された。主には、ドイツ（136台）、中国（50台）、ドバイ（20台）、日本（8台）、英国（5台）、タンザニア（3台）が占める。（8日）

### ・対中国関係

中国政府によって、北部県ムサンゼ郡、西部県ニャビフ郡及びルバブ郡に建設された58の井戸により7,700世帯以上が裨益する。7日、北部県ムサンゼ郡ンコツィ地区において、ルワンダ・中国両政府及び地方政府関係者、並びに、裨益3郡の住民の参加を得て、竣工式が開催された。同井戸は、中国政府が2010年に贈与した1,000万元（約12億ルワンダ・フラン）を用いて建設された。建設工事は、中国江西国際経済技術合作会社が、ルワンダ天然資源省との契約に基づき行い、ムサンゼ郡に28、ニャビフ郡に1

7, ルバブ郡に13の井戸が建設された。(9日)

・インフレ率(2015年8月)

ルワンダ国家統計局(NISR)は8月のインフレ率は7月の前年比2.3%より増加した, 前年比3%であった旨発表した。NISRの報告書によると, 増加の主要因は地産物価格の増加である。(11日)

・投資家へのインセンティブ

農業・動物資源省は, 農業関連機材を購入した民間投資家に対し, 免税や25%の補助金等のインセンティブを提供することを発表した。(11日)

・対英国関係

11日, ルワンダ及び英国政府は, ルワンダの基礎教育支援に向けた3,050万英ポンドの贈与協定に署名した。同贈与は, 英国国際開発省を通じて4年間に亘り実施され, ルワンダ教育省の「Learning for All」プログラムを促進することが期待されている。贈与は, 2015/16年度に1,050万英ポンド, 2016/17年度に800万英ポンド, 2017/18年度に700万英ポンド, 2018/19年度に500万英ポンドが割り当てられている。(12日)

・第4次統合世帯状況調査(EICV4)報告書

ルワンダ国家統計局(NISR)が2013/14年に実施した第4次統合世帯状況調査(EICV4)報告書を刊行した。同報告書は, 2013及び2014年の国内全域を対象とした貧困状況を調査したものである。(14日)

・対EU関係

15日, キガリ市とルワンダ及びウガンダの国境であるガトゥナを結ぶ77.8kmの道路整備が竣工した。同道路整備は, 2012年1月に開始され本年3月に完工し, 6,210万ユーロを要した。費用の内, EUが5,700万ユーロを供与し, ルワンダ政府が残りを負担した。15日にギチュンビで開催された竣工式において, ムソニ・インフラ大臣は, 我々の輸入品の50%以上が本道路を通過することから, 本道路整備の完工は我々の地域統合プロセス及び貿易にとって大きな成果である旨述べた。キガリーガトゥナ間道路は, 北部回廊を経由してルワンダとケニアのモンバサをつなぐ主要道路の一つである。現在, ルワンダ及びコンゴ(民)への輸入の50%は, キガリーガトゥナ間道路を含む北部回廊(1,700km)を経由している。(16日)

・対EU関係

16日, ミミツァ欧州委員会国際協力・開発担当委員は, カガメ大統領との会談後, EUはルワンダの国家開発目標に沿う支援を行っている旨, EUの開発協力は寄付となることを望んでおらず, 我々は我々の開発に対する考え方を輸出するのではなく, 開発による変化を被支援国内部から生じさせるパートナーでありたいと考えている旨述べた。同委員は, ガテテ財務・経済計画大臣との会談時の記者ブリーフにおいて, EUはルワンダによるEUの支援の使われ方に満足し感銘を受けている旨述べた。ルワンダは, 欧州開発基金

(ＥＤＦ)から多くの支援を受けており、２００３年に２．１８億ユーロ、２００７年に４．２９７億ユーロ、２０１４年に４．６億ユーロの贈与が実施された。２０１４年に署名され、２０１５年から２０２０年にかけて実施される現行の第１１次ＥＤＦは、電力及び農業分野に各２億ユーロ、ガバナンス分野に４、０００万ユーロ、キャパシティ・ビルディングに１、０００万ユーロ及び市民社会支援に１、０００万ユーロが配分されている。(１７日)

#### ・対韓国関係

ルワンダ農業・動物資源省及びＫＯＩＣＡは、南部県ニャルグル郡における農業近代化支援に向けたパートナーシップ協定にかかる覚書に署名した。ムサビマナ農業・動物資源次官は、総額５００万米ドル、実施期間３年の統合地域開発プロジェクトでは、丘陵地における持続可能な土地管理、湿地の修復及び開発、ギリнка・プロジェクト支援(当館注：各貧困世帯に乳牛一頭を供与するプロジェクト)に焦点が当てられる旨、本パートナーシップは、近代的農業技術の促進を通じた農業生産性向上に向けられる旨述べた。ルワンダ国家統計局が実施し、先週公表された第４次統合世帯状況調査では、過去３年間に６６万人の国民が貧困から脱し、貧困率が５．８％減少した。貧困から脱した世帯の多くは農業に生計を依存している。(２１日)

#### ・対韓国関係

２２日、６．２ｋｍのカブガーマサカ間道路が正式に開通し、地域コミュニティによって歓迎された。長年、利用者は、同道路は道幅が狭く、それが交通事故の原因ともなっていたことから不満を募らせていた。昨年、中国政府は同道路整備に向けて１、２００万米ドルを供与した。２０１４年６月に開始された同道路工事は、設計者が、増加する都市部の交通量を考慮に入れ、道路幅の拡幅だけでなく、全ての道路利用者のニーズを満たすことに配慮したことが特筆される。(２４日)

#### ・第二四半期の経済成長率

ＮＩＳＲは、第二四半期のＧＤＰ成長率を７％(昨年同時期は６．１％)である旨発表した。ＧＤＰの内訳は、サービスセクターが４７％、農業セクターが３３％、工業セクターが１４％を占める。第一四半期の成長率は７．６％であり、やや下落したが、政府が予測する２０１５年のＧＤＰ成長率６．５％は達成することが想定されている。(２４日)

#### ・米世論調査機関

先週、米国の世論調査機関であるＧａｌｌｕｐが発表した報告書において、治安の良い国ランキングで１４１カ国中、シンガポール、香港、ノルウェーに並び、ルワンダも上位にランクインした。ルワンダは８５％の国民が、日々の生活は安全と感じると回答した。(２７日)  
(了)